

令和 4 年度
お 客 様 支 援 部
居宅介護支援事業所 亀天荘
事業報告書

令和4年度 居宅介護支援事業所 事業報告書

(運営理念)

ご利用者が住み慣れた地域で、健康を保ちながら不安なく生活できることを基本に、亀天荘の居宅介護支援事業所として地域から信頼感を持ち続けて頂けるように努めます。

(運営方針)

- ① 相談や要望への対応を迅速かつ的確にできる組織体制を確立、維持します。
- ② 亀天会グループの窓口として、グループ内各施設・サービス間との連携強化に努めます。
- ③ 地域包括ケアシステム構築の為、地域づくりの一員としての役割を果たせるように努めます。
- ④ その他の介護保険サービス、役所・医療機関等の各種関係機関との連携を図ることで、サービスや手続き、健康面の不安を都度解消できる対応に努めます。

(重点目標)

- ① ご利用者の望まれる暮らしを続けられるように、相談の際には情報を整理しながら必要とされるサービスを提供できるように努めました。特に、安定した生活を続けるために先々まで想定できるようにサービスの提案を行うことに意識を持ちながら、在宅サービスや施設サービスの提案をさせて頂きました。ご利用者やご家族によって心身状況や家族環境等の違いがありますが、安心・安全な暮らしが続けられるようにマネジメントを実施しました。
- ② 医療機関との連携を図る事により、医療が必要な方の在宅復帰の支援を行いました。ターミナル期の方など一時的に在宅での生活を希望されている方についても、退院前から情報交換を密に行いながらスムーズな在宅復帰が行えるように、医療機関やサービス事業所間等との連携を図りながらご利用者、ご家族の支援が行えました。医療ニーズが高いご利用者は、長期間の在宅生活は行えませんでした。医療機関や事業所間、ご利用者やご家族と情報交換や連携を持つに図る事によって、ご利用者が望まれる在宅での生活を支援することが出来ました。

- ③ 地域包括支援センターとの連携を図りながら、支援を要する高齢者の方々へのスムーズな介護保険サービスの導入が行えるようにつとめました。地域で暮らす方々が不安を抱えながら生活をする事がないように、ご利用者一人一人の心身や生活状況を把握し、適切なサービスを提案し安心して日々を暮らせるようにつとめました。また活動を行っていきながら地域課題を抽出し、関係機関との情報共有を行いました。

(研修計画について)

日々のケアマネジメントにおいて、ご利用者のニーズも様々であり、そのニーズに適切に対応できるように研修を通じてスキルアップを目指しました。また、介護保険に関する情報についても事業所内で共有できるようにし、新しい情報についても把握できるように努めました。地域包括支援センターとの連携を図っていく上で困難事例の対応も例年より増加しましたが、適切な対応が出来るように事業所内での処遇検討を行いながらご利用者支援を行いました。

(3) その他の重要な取り組み

① 新型コロナウイルス感染症予防及びまん延防止対策

在宅支援においてご利用者宅を訪問する事が多くなるため、まずは支援者としての健康管理・感染対策を徹底し、私たち自身が媒介者とならないように細心の注意を行いました。また、日々の新型コロナウイルス感染症の感染状況や予防方法についても情報把握と対策に努めました。ご利用者やご家族についても、感染予防についてのアナウンスを行いご利用者が感染者とならないよう支援致しました。

② ハラスメント対策

ハラスメントに関する事柄について、事業所内で情報共有を行いハラスメントについての理解につとめました。特に、居宅介護支援事業所ではご利用者やご家族、サービス事業所と関わる場面が多くある為、不当・悪質なクレーム等のカスタマーハラスメントに関して、どのような事項が当てはまるかという事やハラスメントがあった際の対応についても確認致しました。その中で、ハラスメント対策において職員同士での日々のコミュニケーションや、情報共有がいかにか大切であるかという事を伝えながら、ハラスメントについて早期対応が出来るように努めました。

③ 地域における公益的な活動

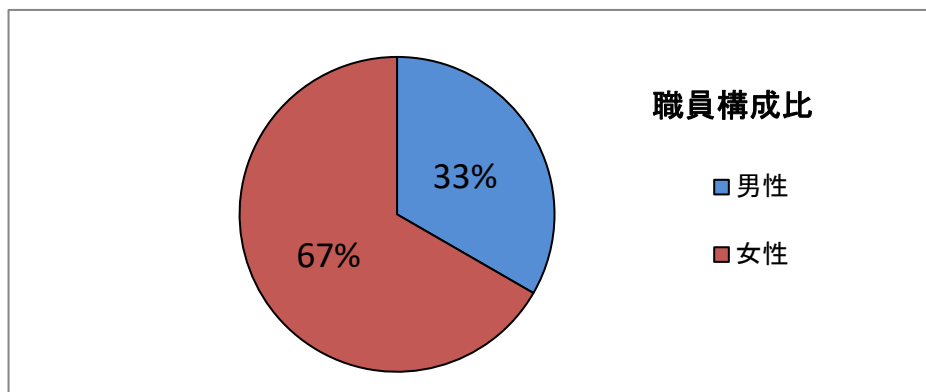
新型コロナウイルスの感染予防の為、河北会館で実施しておりますふれあい祭りが縮小開催(展示のみ)となり、直接対面で実施するレクリエーション、介護相談は中止となりました。翌年度以降の参加を予定させて頂いている事や地域の介護相談等の情報共有の為、会館へ訪問させて頂き介護保険や福祉サービスの情報提供や地域の情報について情報共有につとめました。法人や事業所と地域の関係性が継続できるように、定期的に訪問しかかわりを持つことにつとめました。

1. 事業所

① 概要

事業所名	社会福祉法人 亀天会 お客様支援部		
事業所種別	居宅介護支援		
事業所住所	西条市三芳1535番地1		
管理者職名	管理者 宮田 晴司		
職員数	男性	女性	総数
	1	2	3

(令和5年3月31日現在)

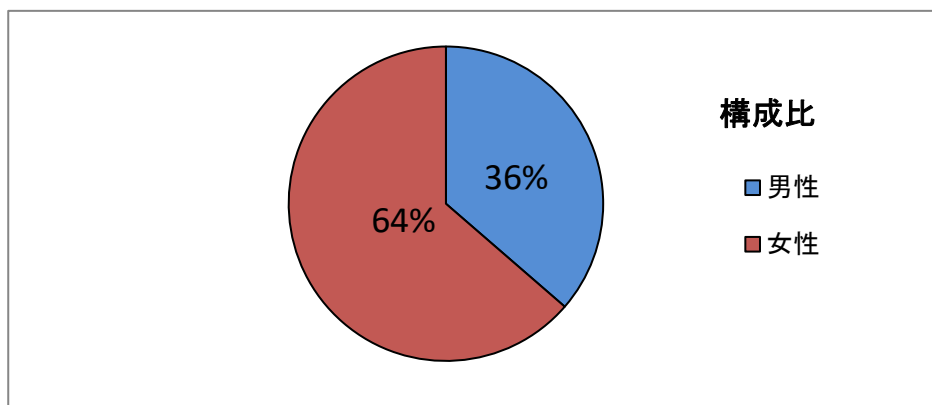


②職員紹介

居宅介護支援事業所では、3名の介護支援専門員が所属しております。令和4年度に管理者要件要件(令和8年度まで経過期間)にある主任介護支援専門員を取得し、ケアマネジメントにおいてより質の高いサービス提供が出来るようにするとともに、法人内や地域の介護支援専門員の質の向上が図れるように努め、地域の高齢者の方やご家族が安心して生活やが出来るようにしています。また、地域包括ケアシステムの構築を行う為に、地域包括支援センターや医療機関等との連携強化を図りながら、地域の高齢者が住み慣れた地域でくらしつづけるという意向に沿えるように活動を行っています。今後も、各機関との連携を図

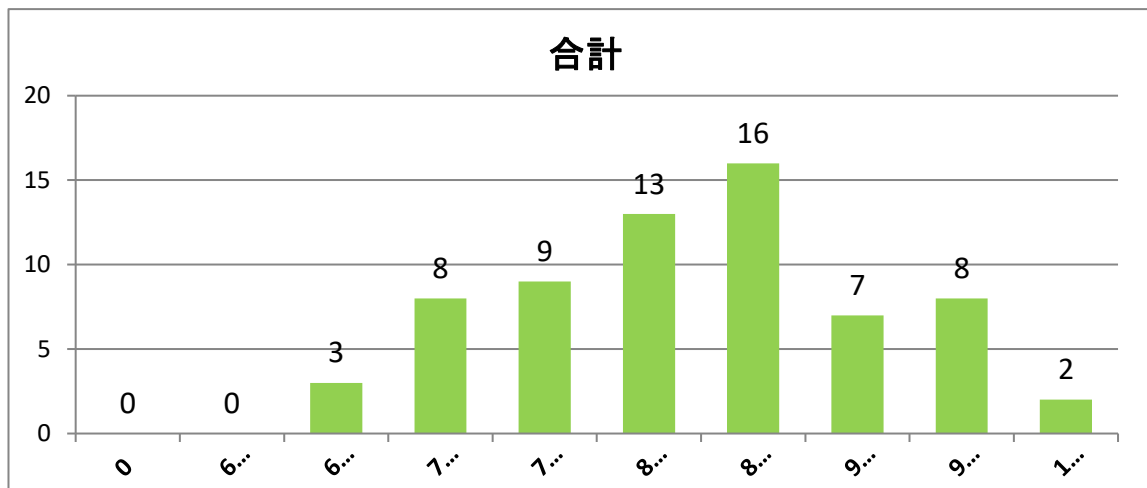
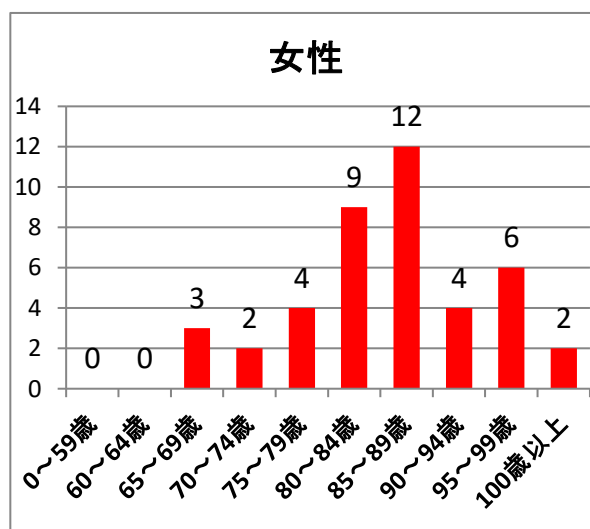
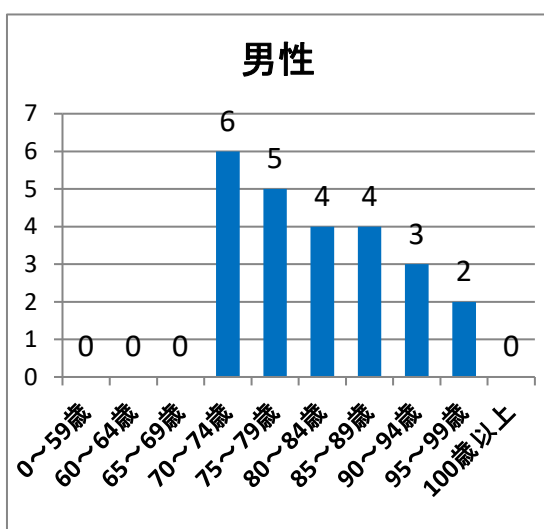
2. 定員及び現在人員(令和5年3月31日現在)

定員(名)	現在人員(名)	性別	
		男性	女性
89	66	24	42



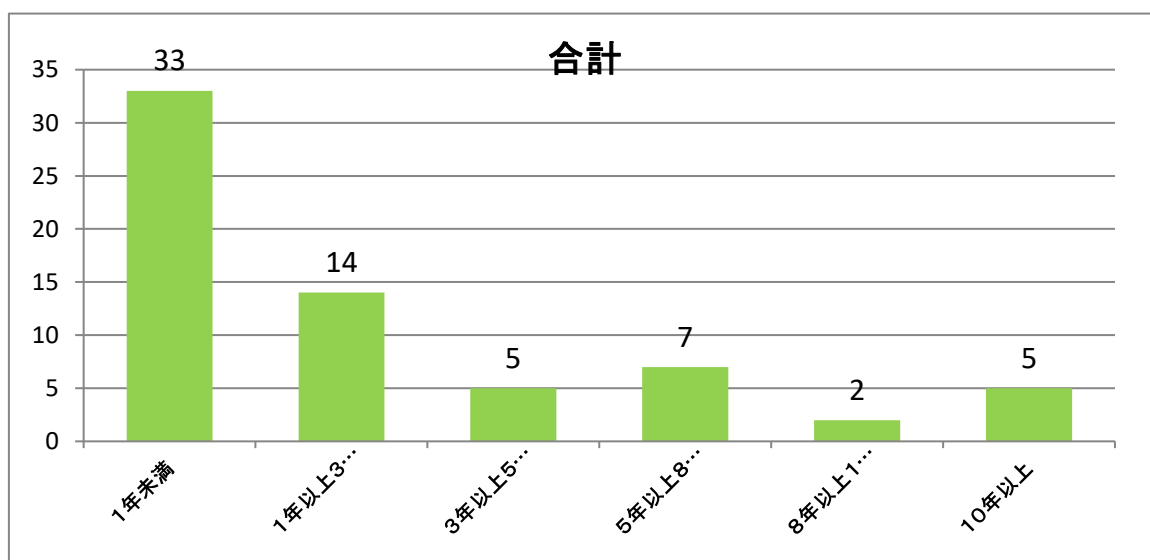
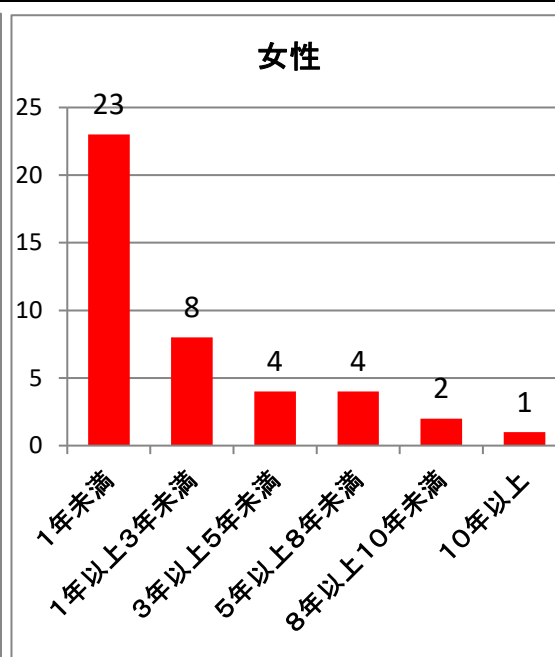
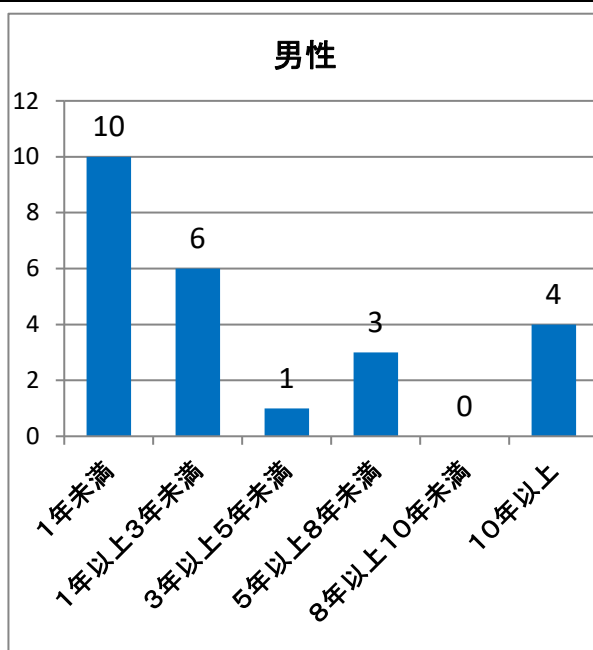
3. 年齢別人員

	男性	女性	合計人数と構成比	
			人数(名)	構成比(%)
0～59歳	0	0	0	0.00%
60～64歳	0	0	0	0.00%
65～69歳	0	3	3	3.03%
70～74歳	6	2	8	8.08%
75～79歳	5	4	9	9.09%
80～84歳	4	9	13	13.13%
85～89歳	4	12	16	16.16%
90～94歳	3	4	7	7.07%
95～99歳	2	6	8	8.08%
100歳以上	0	2	2	2.02%
合計	24	42	66	66.67%
	最高年齢	最低年齢	平均年齢	男女平均年齢
男性	95	71	81.13	84.15
女性	101	66	85.88	



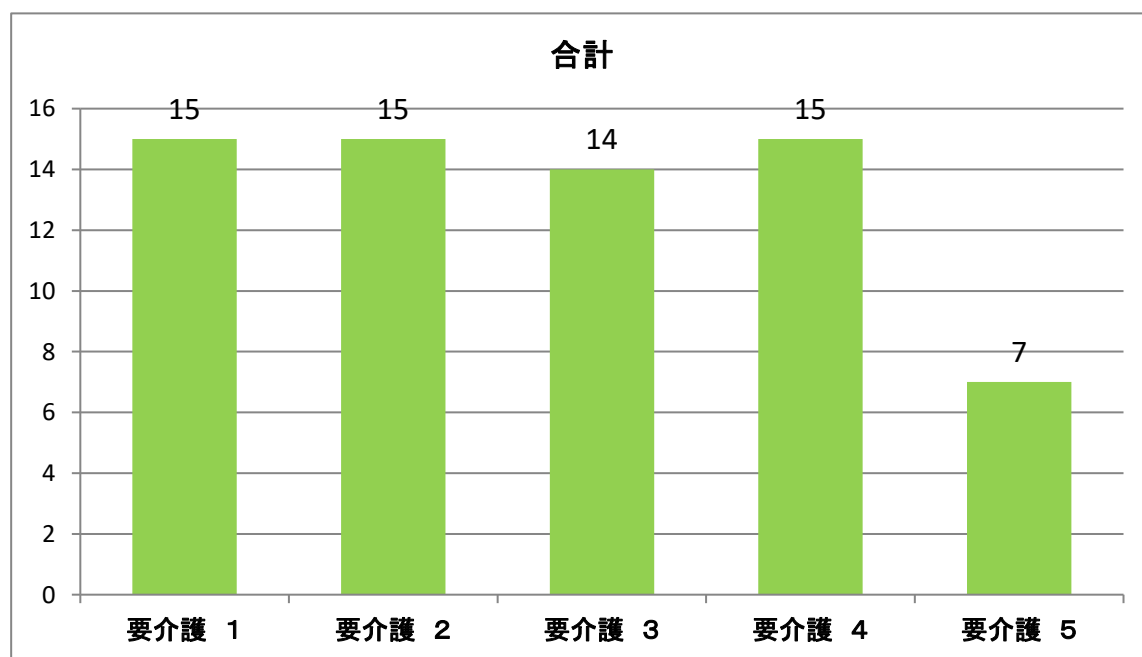
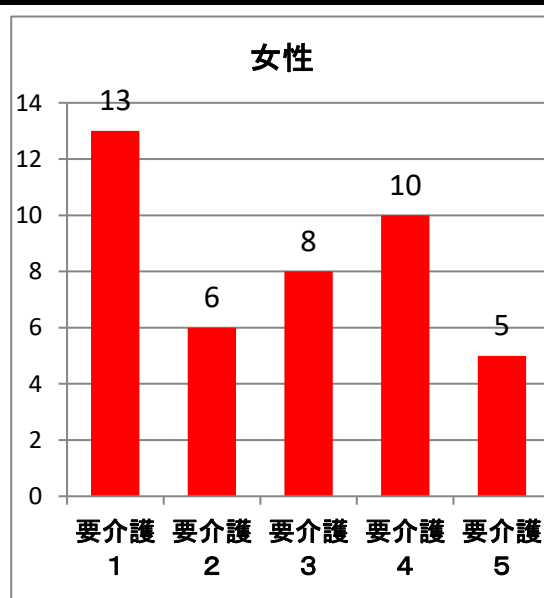
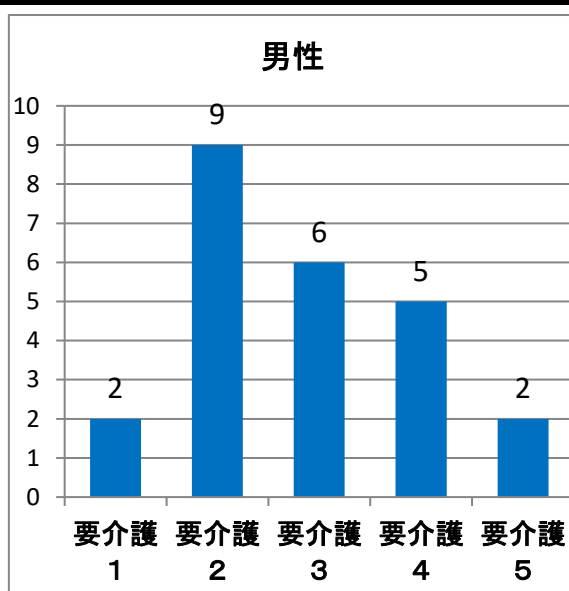
4. 入居期間別人員

	男性(名)	女性(名)	合計(名)	構成比(%)
1年未満	10	23	33	33.33%
1年以上3年未満	6	8	14	14.14%
3年以上5年未満	1	4	5	5.05%
5年以上8年未満	3	4	7	7.07%
8年以上10年未満	0	2	2	2.02%
10年以上	4	1	5	5.05%
合計	24	42	66	66.67%
平均入居期間	3.88	2.37	2.86	



5. 平均介護度別人員

	男性(名)	女性(名)	合計	
			人数(名)	構成比(%)
要介護 1	2	13	15	15.15%
要介護 2	9	6	15	15.15%
要介護 3	6	8	14	14.14%
要介護 4	5	10	15	15.15%
要介護 5	2	5	7	7.07%
合計	24	42	66	66.67%
平均介護度	2.52	2.29	2.36	



6. 研修実施状況

【内部研修】

実施月	研修内容	研修講師	出席者数
4月	アセスメント力の向上について	管理者	2名
5月	ケアプランの質について	主任介護支援専門員	3名
6月	福祉用具貸与について	管理者	3名
7月	合同事例検討会	主任介護支援専門員	3名
8月	認知症の人へのケアマネジメント	管理者	3名
9月	ケアマネジメント(記録について)	主任介護支援専門員	3名
10月	感染症について	管理者	3名
11月	認知症の方の口腔ケア	主任介護支援専門員	3名
12月	疾患別ケアプラン作成について	管理者	3名
1月	高齢者向け食事宅配サービスについて	主任介護支援専門員	3名
2月	合同事例検討会	管理者	3名
3月	生活保護制度と生活困窮者自立支援	主任介護支援専門員	3名

【外部研修】

実施月	研修種類	研修内容	出席者職種
9月・11月	ケアプラン点検	ケアプラン適正化事業AIケアプラン(西条市)	介護支援専門員
7月・2月	合同事例検討会	合同事例検討(ケアプランセンター共立病院・居宅虹の花合同)	介護支援専門員

7. 行事・クラブ活動及びボランティアの受入れ実施状況表

【地域交流・ボランティア受入れ状況】

実施月	団体名	内容	参加者数(名)
11月	河北会館	ふれあい祭り(新型コロナウイルス感染症の感染対策により縮小開催。展示のみの実施になり不参加)	0

8. 苦情状況

【苦情状況】

日付	法人との関係	内容
令和4年度		特になし

